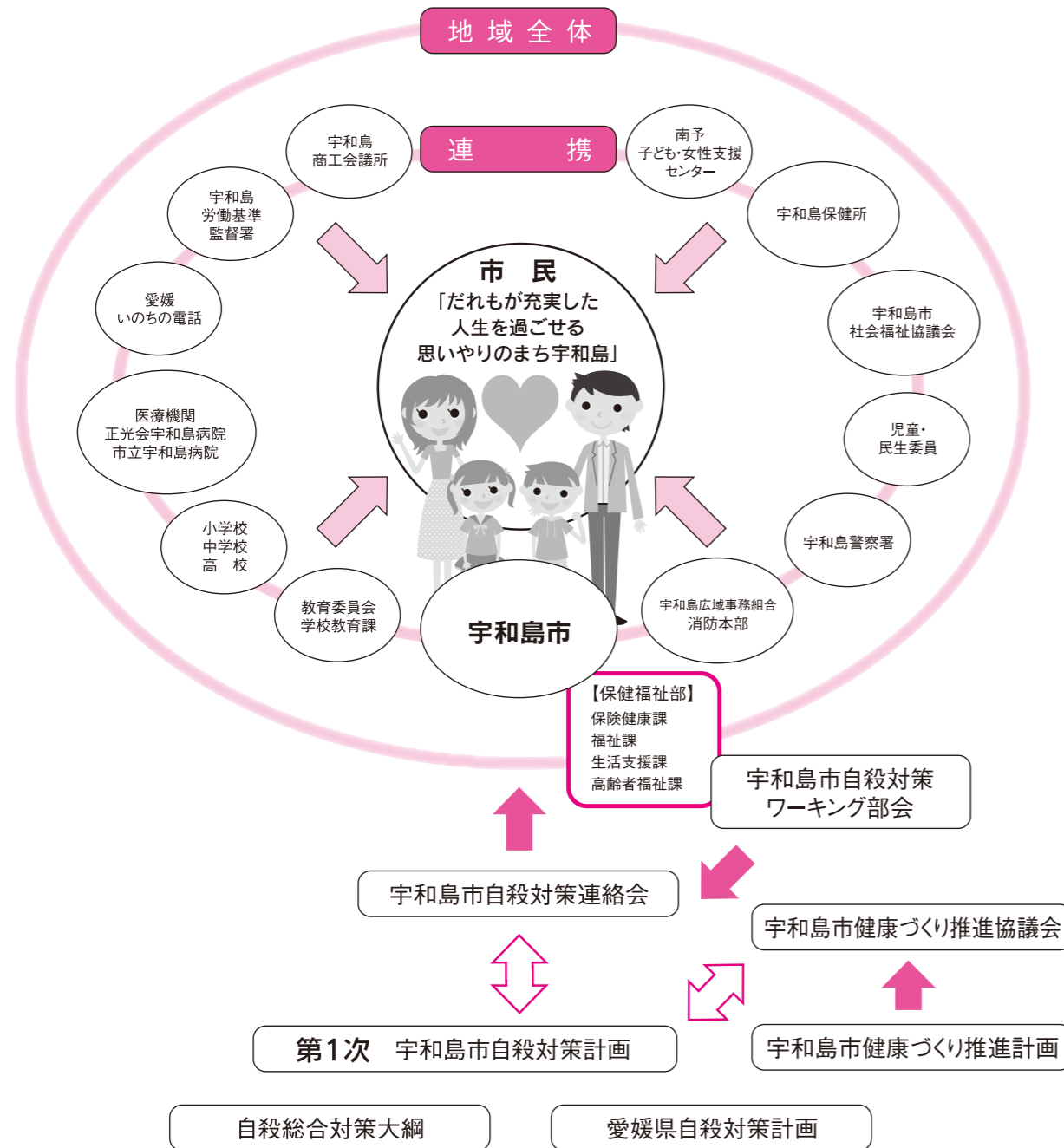


♡ 計画の推進

各関連施設等だけでなく、庁内関係課をはじめ、市内施設や関係者と緊密な連携を図り、自殺対策を総合的に推進していきます。

〔宇和島市自殺対策ネットワーク〕



相談窓口 (宇和島市役所内)	相談内容・時間	電話番号
保険健康課 成人保健係	*電話・面接による相談を受け付けています。 受付時間：平日8:30~17:15 (土日祝日を除く)	49-7021
吉田支所 健康推進係		49-7096
三間支所 健康推進係		49-7103
津島支所 健康推進係		49-7062
本庁：福祉課 ぐらしの相談窓口		49-7019

編集・発行 宇和島市保健福祉部 保険健康課 令和2年9月
〒798-8601 宇和島市曙町1番地
TEL: 0895-24-1111(代表) FAX: 0895-24-1124

ダイジェスト版

宇和島市自殺対策計画

～誰も自殺に追い込まれることのない宇和島～



♡ 計画策定の趣旨

全国の自殺死亡者数は、平成22年以降減少傾向にありますが、毎年2万人以上の方が自ら命を絶っており、依然深刻な状況が続いています。

このような中、平成28年に「自殺対策基本法」が改正され、自殺対策は「生きることの包括的な支援」であるとの理念のもと、地域レベルで実践的な取組を推進するため、全ての市町村に「自殺対策計画」の策定が義務付けられました。

本市においても、国の自殺対策指針となる「自殺総合対策大綱」を踏まえ、市の特性に応じた総合的な自殺対策を推進するため、本計画を策定しました。

♡ 計画期間

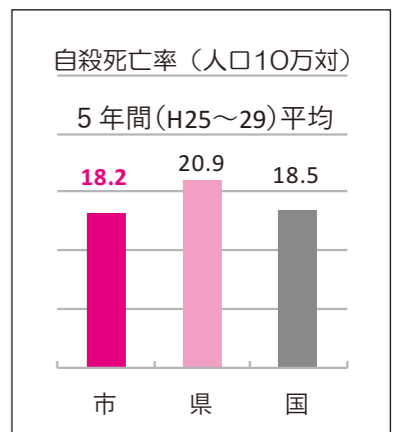
令和2年度～令和5年度 (2020～2023年度)

♡ 計画の目標

計画期間の最終年度までに、自殺死亡率を18.2から13.0%以下へ減少させることを目指します。(30%以上の減少)

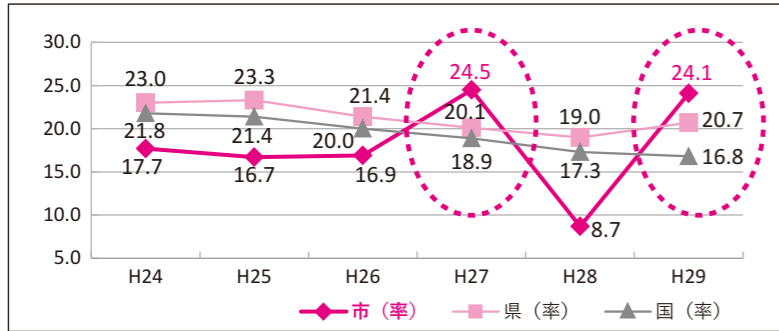
目標指標	現状値	目標値
自殺死亡率 (人口10万対)	平成25年～29年 18.2	令和2年～5年 13.0以下

※自殺死亡率は単年ではバラつきがあり、本市は人口規模も小さいため、複数年の平均値を指標としています。



宇和島市における自殺の状況

○自殺死亡率（人口10万対）の年次推移

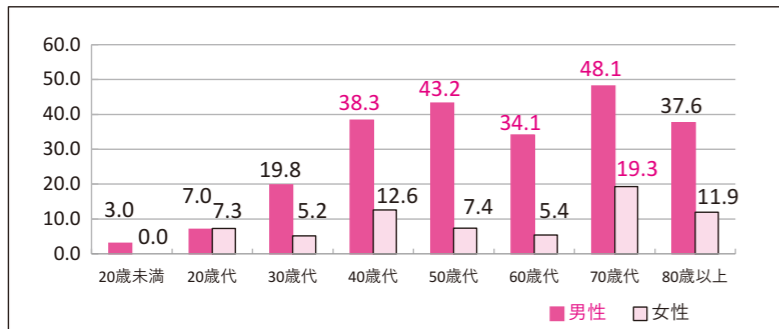


【資料】地域自殺実態プロファイル 2018

・国、県と比較し、市では平成27年、29年の自殺死亡率が高くなっています。



○性別・年代別自殺死亡率（平成25～29年合計・人口10万対）



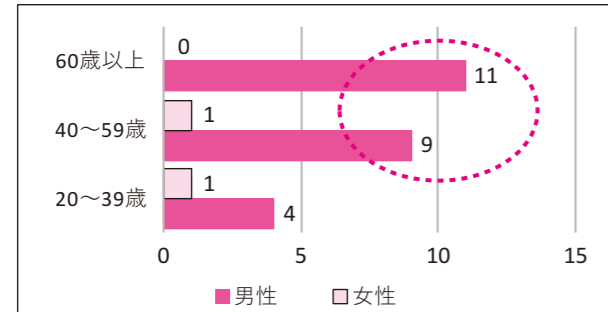
【資料】地域自殺実態プロファイル 2018

・女性より男性の自殺者が多く、男性は40～70歳代、女性は50～70歳代の中高年に多い状況です。特に、男女とも最も自殺者が多いのは70歳代であり、70歳代の自殺死亡率は全国的に見ても高い状況です。

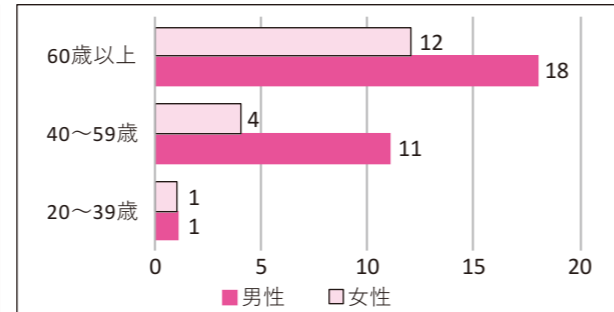
○職業有無別自殺者数（平成25～29年合計）

・男女ともに無職の方が多いが、有職者の男性では40～59歳、60歳代の働きざかりの年代が多い状況です。

①有職者 男性 24人 女性 2人



②無職者 男性 30人 女性 17人



【資料】地域自殺実態プロファイル 2018

○原因・動機別構成比

・「健康問題」が多いが、自殺の多くは多様かつ複合的な原因や背景があり、様々な要因が連鎖して起きていると考えられます。

このため、自殺対策には社会・経済的な視点も含めた取組とともに、自己肯定感や信頼できる人間関係、危機回避能力の獲得等の「生きることの促進要因」を増やすことを通じて、社会全体で自殺リスクを低下させることが重要です。

	健康問題	経済・生活問題	家庭問題	勤務問題	男女問題	学校問題	その他	不詳
宇和島市 (H26～30)	34.8%	14.5%	11.6%	7.2%	1.4%	0.0%	10.1%	43.5%
愛媛県 (H30)	67.1%	22.0%	20.2%	13.0%	4.6%	2.3%	6.9%	33.9%

【資料】厚生労働省：「地域における自殺の基礎資料」（重複回答：最大3つまで計上）

計画の体系

宇和島市の自殺対策は、5つの「基本施策」と市の実態を踏まえた「重点施策」を組み合わせ、庁内の多様な既存事業を「生きる支援関連施策」と位置づけ、包括的な対策を推進します。

